



常民をめぐる人々

～佐野常民を知る四つのエピソードより～



2019 2/11(月・祝) ▶ 3/24(日) 【開催時間】 9:00～17:00

画像提供:日本赤十字社

会場: 佐賀市佐野常民記念館 二階展示室
(佐賀市川副町大字早津江津446-1)

TEL: 0952-34-9455 休館日: 毎週月曜日(月曜が祝日の場合翌日)
FAX: 0952-34-9465 観覧料: 大人/300円 小・中・高校生/100円 (常設展示観覧も含む)

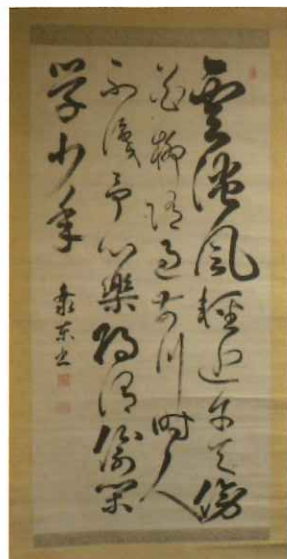
主催 佐野常民記念館 後援 日本赤十字社佐賀県支部、朝日新聞社、毎日新聞社、佐賀新聞社、西日本新聞社、読売新聞西部本社、
共催 佐野常民顕彰会 サガテレビ、エフエム佐賀、NBCラジオ佐賀、ぶんぶんテレビ(順不同)



鍋島直正二行書「先憂後樂」
(佐賀県立博物館・美術館蔵)



鍋島直大(右)と佐野源一郎(左)
(写真複製、原資料「佐賀藩海軍史」所収)



松方正義七絶書(当館蔵)



篤志看護服姿の御一家たち
(写真複製、原資料(公財)鍋島報効会所蔵)

江戸時代後期、佐賀・川副の地に生を受けた、佐野常民。佐野は、佐賀藩時代には、精煉方、三重津海軍所での活動を通じて、佐賀藩の近代化へ、明治時代には、博覧会事業、伝統美術振興から殖産興業を支え、そして代名詞ともいべき赤十字事業を通じて、名実ともに世界の「文明国」入りを目指しました。その一生は文字通り明治日本の近代化にむけて奔走し続けた人生といつて過言ではありません。ただ、さながらそのドラマのような人生は、決して佐野ひとりだけで演じられたわけではありません。佐野常民は80年の人生を生きていますが、その生涯のなかで様々な出会いがありました。いわば人生の節目々々な人々と出会い、交わり、時には支援を得たからこそ、佐野は様々な分野で功績を残し、幕末から明治にかけての激動の時代に名を残すことができたのではないのでしょうか。

企画展では、「明治維新150年」という節目をむかえるいま、佐野常民の人生をたどる上で重要な「鴻恩(鍋島家)」、「朋輩(大隈重信)」、「同志(大給恒)」、「曩祖(祖先)」という四つの視点から、関係する人々を紹介し、人々との関わりという視点から改めて「人間 佐野常民像を描きだします。」

企画展講演会

日時：2月24日(日) 13:30～15:00

講師：大園 隆二郎 氏

公益財団法人鍋島報効会評議員
元佐賀県立図書館近世資料編さん室長

場所：佐賀市佐野常民記念館



陸軍大将宣下之図(当館蔵)

【お問い合わせ】

佐賀市 佐野常民 記念館

TSUNETAMI SANŌ Memorial Museum

〒840-2202

佐賀県佐賀市川副町大字早津江津446-1

TEL 0952-34-9455 FAX 0952-34-9465

URL : www.saganet.ne.jp/tunetami/

Mail : tunetami@star.saganet.ne.jp

